



9/10(木)14:00～

(開場13:30)

名古屋大学

文系総合館7階

カンファレンス

ホール

プログラム

14:00 開会挨拶

14:05 土谷遙子氏によるインダス川上流・ギルギット川流域調査：

1991年9月の調査写真の整理・公開

名古屋大学人文学研究科附属CHTセンター 影山悦子

14:25 1991年9月の踏査地域と調査対象資料

名古屋大学人文学研究科 岡田理恵子

15:20 フンザ溪谷ハルデイキシユの「聖なる岩」

愛知県立大学日本文化学部 内記理

16:00 西チベットにおける古チベット語碑文の年代再考

龍谷大学 世界仏教文化研究センター 西田愛

16:45 閉会



土谷 遙子 Haruko Tsuchiya (1933-2021年)

仏領モロッコ、カサブランカ生まれ。1953年国際基督教大学入学。1961年ミシガン大学留学、修士課程（東洋美術史）修了。1965年アーマッド・アリ・モタメディ氏（カーブル博物館長）と結婚、カーブル大学講師、カーブル博物館客員研究員。1979年帰国。1982～1999年上智大学、講師、助教授を経て比較文化学部教授。宮治昭・モタメディ遙子編『シルクロード博物館：壮大なる東西文明交流のつづき』（世界の博物館19）講談社、1979年他、多数。

岩に刻まれた信仰と歴史

インダス川上流域・西チベットの仏教・岩絵・碑文

第一〇回名古屋大学文化遺産学セミナー

主催：名古屋大学人文学研究科附属人類文化遺産テキスト学研究センター（CHTセンター）

共催：名古屋大学最先端国際研究ユニット「文化遺産と交流史のアジア共創研究ユニット」

※写真資料の整理・デジタル化・研究は三菱財団の助成を受けて実施しました。

